

# 令和元年度第2回小牧市都市計画マスタープラン策定委員会 議事録

## 1 開催日時

令和元年 12 月 23 日（月）10 時 00 分から

## 2 開催場所

小牧市役所 東庁舎 5 階 大会議室

## 3 出席委員（名簿順）

大塚 俊幸	中部大学教授
萩原 聡央	名古屋経済大学教授
生田 京子	名城大学教授
長田 宏	尾張中央農業協同組合
名和 千博	小牧商工会議所
酒井美代子	小牧市女性の会
細 敏雄	南岩崎台区長
小柳 松夫	桃ヶ丘第1区長
岸 伸行	上新町区長
佐橋 均	村中区長
齊藤 保則	愛知県都市計画課主幹（片山 貴視 都市計画課長代理）
小林 直浩	地域活性化営業部長
前田 勝利	都市政策部長

## 4 欠席委員

林 克生	尾張建設事務所企画調整監
小塚 智也	市長公室長

## 5 事務局

鵜飼 達市	小牧市都市政策部次長
永井 浩仁	小牧市都市政策部都市計画課長
馬庭 貴彦	小牧市都市政策部都市計画課都市計画係長
白木 裕之	小牧市都市政策部都市計画課都市計画係技師

6 会議内容

1 議題

(1) 小牧市都市計画マスタープランの改定案について

2 その他

**【事務局】（馬庭係長）**

本日は、お忙しいところ小牧市都市計画マスタープラン策定委員会にご出席を賜り誠にありがとうございます。  
でございます。

これより令和元年度第2回小牧市都市計画マスタープラン策定委員会を開催させていただきます。  
はじめに、事務局を代表しまして、都市政策部次長の鶴飼よりご挨拶を申し上げます。

**【事務局】（鶴飼次長）**

皆様、改めまして、おはようございます。

本日は、暮れの大変お忙しい中ご出席を賜り誠にありがとうございます。

さて、都市計画マスタープランの改定につきましては、平成30年度から2か年をかけまして作業を進めてまいりました。前回、11月の策定委員会で委員の皆様からいただきましたご意見などを踏まえ、ようやく全体案がまとまりましたので、本日の策定委員会において議題とさせていただきたいと考えております。

委員の皆様方におかれましては、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

**【事務局】（馬庭係長）**

続きまして、大塚委員長よりご挨拶をいただきます。

**【大塚委員長】**

皆様、おはようございます。

ただいまのお話にありました様に、都市計画マスタープランの改定に向け、昨年度より2か年にわたり皆様からたくさんの意見をいただきながら進めてまいりました。より良い計画とするため、皆様にはもう少しお力をお貸しいただき、大詰めのとりまとめにご協力いただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

**【事務局】（馬庭係長）**

ありがとうございました。

続きまして、資料の確認をお願いします。

本日の資料につきましては、事前に送付をさせていただいておりますが、次第の下段に記載のとおり、資料1、資料2、資料3の3点となっております。

不足している資料がございましたらお申し付けいただければと思います。

よろしいでしょうか。

ご確認、ありがとうございます。それでは議事に入ります。

議事の進行につきましては、委員長にお務めいただくこととなっておりますので、大塚委員長に進行をお願いいたします。

**【大塚委員長】**

それでは次第に沿って議事を進めてまいります。

議題（１）「小牧市都市計画マスタープランの改定案について」を議題といたしますので、事務局の説明を求めます。

【事務局】（馬庭係長）

それでは、議題（１）「小牧市都市計画マスタープランの改定案について」、ご説明をさせていただきます。

資料１をお願いします。

改定案のご説明の前に、前回の委員会で状況報告させていただきました、全体構想案に対するパブリックコメントの結果につきまして、提出されました意見７件に対する市の考え方を説明させていただきます。

資料を事前に送付させていただいておりますので、個別の説明は割愛させていただきますが、４ページをお願いします。

下段にあります、６．公開については、広報こまき「12月15日号」でお知らせするとともに、市のホームページ、情報公開コーナー、各市民センターなどで12月15日から公開させていただいております。

続きまして、改定案の説明をさせていただきます。ここでは、資料２と資料３の両方を使って説明させていただきますのでよろしくお願いします。

資料２をお願いします。前回素案からの修正点をまとめたものになります。

①序章. はじめにを追加しました。資料３の１ページをお願いします。

(1)都市計画マスタープランとはで、都市計画法第18条の2に位置づけられた市町村の都市計画に関する基本的な方針のことで、まちづくりの将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すものであることなど、を記載してございます。

(2)法体系における位置づけでは、下段の図をご覧ください。上位計画、愛知県が定める「尾張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、尾張都市計画区域マスタープラン」や、小牧市が定める「小牧市まちづくり推進計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に即するものであること、連携・整合する関連計画として、緑の基本計画、都市景観基本計画、地域公共交通網形成計画、駅前広場等整備基本構想、観光振興基本計画、(仮称)東部振興構想等があることなどの位置付けを記載してございます。

２ページをお願いします。(3)策定体制、(4)策定の趣旨、(5)計画期間では、本計画は、概ね20年後の都市の姿を展望しつつ、概ね10年後である2030年を目標年次といたします。

３ページをお願いします。(6)上位計画の概要で、①小牧市まちづくり推進計画、５ページをお願いします、②尾張都市計画区域マスタープランの概要を記載してございます。

資料２にお戻りください。

②と③は全体構想の修正となります。資料３の61ページをお願いします。

都市づくりの目標であります。

前回の策定委員会でご質問いただき、全体構想では特にキャッチフレーズを設けておりませんでしたが、右側上段をご覧ください。将来都市像を、魅力・活力創造都市、交流や元気を育み安全・安心に暮らし続けられるまち、とキャッチフレーズを設定しました。また、その下段に関連するSDGsのゴールを追加いたしました。

資料２にお戻りください。

④と⑤は地域別構想の修正となります。資料3の91ページをお願いします。

前回の策定委員会で地域別構想の具体性についてご指摘をいただきました部分となります。(1)地域別構想とは、の中で、1行目、市民にとって身近な生活圏の範囲ごとに、各地域の現状や課題に対応しつつ、土地利用などに関する取り組み方針について全体構想を具現化したものです、を追加いたしました。

先ほど、資料3の「序章. はじめに」において、マスタープランの位置づけをご説明申し上げましたが、都市計画マスタープランの全体構想及び地域別構想で、都市計画に関する基本方針や、地区別のあるべき市街地像をお示しし、その具体的な内容については、個別に運用や事業化を図るほか、連携・整合する関連計画の中で定めていくこととなります。

資料2にお戻りください。

⑤であります。これも前回の策定委員会でご指摘をいただきました部分となりますが、各地域のまちづくりの目標を特徴的でわかりやすくシンプルにしてはどうかということで修正したものととなります。

③に記載しました全体構想の目標に加えるかたちで、中南部は、「小牧山や中心市街地としての魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまち」、西部は、「幹線道路等へのアクセス性を活かし住環境と産業立地が調和するまち」、北部は、「社寺やみどりなどの地域資源を活かし快適な暮らしとふれあいのあるまち」、東部は、「自然景観や訪れて楽しい施設などの地域資源を活かし憩いと交流のあるまち」といたしました。

次に、⑥7章、計画の実現に向けて、を追加いたしました。資料3の145ページをお願いします。

(1)計画の実現に向けた5つの方針であります。計画に基づいたまちづくりの推進、市民協働によるまちづくりの推進、民間活力を生かしたまちづくりの推進、関係機関との連携、都市計画マスタープランの見直しであります。

146ページをお願いします。

(2)計画の進捗管理に関する方針で、上位計画であるまちづくり推進計画で掲げられた指標を用いて、本計画における5つの都市づくりの目標の進捗状況を把握してまいります。

都市構造の視点で、記載の7つの指標、都市活力の視点で、記載の6つの指標、都市生活の視点で、記載の14の指標、都市環境の視点で、記載の10の指標、都市運営の視点で、記載の3つの指標により確認してまいります。

資料2にお戻りください。

⑦その他軽微な文言修正等を行いました。

続きまして、裏面をお願いします。

マスタープラン改定の経過と今後であります。

今後につきましては、来年1月28日の都市計画審議会に諮問ののち、2月に公表させていただく予定であります。

以上、都市計画マスタープランの改定案についての説明とさせていただきます。

#### 【大塚委員長】

ありがとうございます。

ただいま、パブリックコメントの実施結果について、各意見に対する市の考え方を示した資料1を説明いただきました。また、前回の委員会で出された意見を踏まえて修正等を加えたものを資料

2、資料3を使ってご説明いただきました。

パブリックコメントの実施結果については、それによって計画の中身を変えるということではなく、主に前回提出された意見等を盛り込んだ形で、今回の最終案が提示されているかと思えます。

皆様方からご質問、ご意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

最後の会議ということもありますので、感想等を含めできれば皆様から一言ずつでもコメントをいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

#### 【岸委員】

前回の委員会より修正をしていただき、特に序章を追加していただいたことにより、本計画の位置づけがよくわかるようになりましたし、本計画でどれぐらいまで具体化したことを書けばいいのかというイメージもある程度湧いてきたような気がいたします。

実際細かい説明を読んでいますと、前半部分が現在の状況ということで、かなり細かな数字がたくさん出てきます。そのイメージで後半を読むと、具体化、具現化に少し物足りなさを感じるというのは今でもありますが、ただ、それがこの後のさまざまな計画において具体化されていくという位置関係がよくわかるので非常によいかと思います。

特に地域別のお話になっていくと、どうしてもその場所にお住まいの方々が自分たちの現状と見比べながら、具体的な期待を持ってご覧になると思います。そうしたときに少し物足りなさを感じる場所があるのかなというのはありますけれども、先ほど言ったように、この後さまざまな計画にそれが反映されていくんだということがわかったことで、その辺もご理解いただけるのかなという気がいたします。

発言させていただいたついでに、少し文章を直していただきたいところがありますので、よろしいでしょうか。

#### 【大塚委員長】

どうぞ。

#### 【岸委員】

15 ページに現況の説明図がありますが、15 ページの下の図、縦軸の単位が書かれていないため、見にくい気がします。上の図は1年間の「万人/年」という単位で表示してありますので、同様に下の図にも単位を入れていただくと見やすくなる気がいたしました。

これも細かなところで申しわけないですけれども、56 ページの文章表現で、少し言葉の使い方が気になったところがあります。

一番下の文章、「小牧駅西側に空き店舗、駐車場の分布が多くみられ」と表現されていますけれども、同じような表現が52 ページの一番上に出てきます。こちらは「空き店舗、駐車場が散見され」と表現されていますので、できればどちらかに統一されたほうが違和感なく読めるのではないかと感じましたのでご検討いただければと思います。

#### 【大塚委員長】

大変細かく見ていただきましてありがとうございます。

最初のご意見はかなり重要なことで、計画を立てるためには現状を正しく理解しておく必要があります。データを積み上げ小牧の現状を細かく整理し、それを基に計画を検討していく必要があります。

しかし、マスタープランという性格上、個別の事業、施策まで具体的に述べるところまではいかずに、基本的な考え方、方針にとどまっているところがあり、それが市民目線からすると少し物足りないというお話であったと思います。

その辺は、方針に基づいて個別の部門別の計画の中で細かく計画を立てて実施することとなるため、その方針について合意できれば、このマスタープランとしてはいいのではないかと考えております。

もう1点が、修正事項となりますが、これについては事務局からお願いします。

#### 【事務局】（永井課長）

ご指摘いただいた部分については修正させていただきたいと考えております。

#### 【大塚委員長】

では、よろしくお願いたします。

今の部分に限らず全体的に細かくご確認いただければと思います。

ほかにいかがでしょうか。

最後ですので、このまま何もなければ感想でもかまいませんのでお願いします。

#### 【小柳委員】

全体を熟知しているわけではありませんが、今までの議論を積み上げてきた中で、かなり高度にまとめられているとっております。

ただ、最近の状況を見ますと、例えばいつの新聞でしたか、住みこちランキングという記事が載っておりましたが、こういったマスタープランやまちづくり推進計画等により、地域の魅力をいかに出していくかが重要であると考えます。

魅力というのは、よそから見た魅力とそこに住んでいる人が感じる魅力があると思います。ランキングの基準もいろいろあると思いますが、名古屋市昭和区は住みこちランキングが全国5位にランクされておりましたが、小牧はランクされていない。ランクされていないからどうかというのではなく、マスタープランを推進して、いかに到達できるよう努力するかということが極めて重要だと思っております。

私は東部に住んでおりますので、特に東部の魅力をどうやって引き出していくかということを常々考えておりますけれども、そういうものもかなり含めていただいております。もう少し細かいことについては、実際に計画を推進する中で申し上げていく機会があれば、またその機会に申し上げていきたいと思っておりますが、全体的にはこれで異議はありません。

#### 【大塚委員長】

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

今後この計画ができれば、いかに実現させていくのが重要なところですので、その実現させる原動力になるのは市民意識であると思っておりますので、東部に限らず、全市的にこの計画を共有しながら市

民の皆様にも関心を持っていただければ、計画の実現に向かっていくのではないかなと思います。

#### 【萩原委員】

質問が2点あります。

全体の流れとしては、うまくまとめをしていただき、また、進捗状況等の追加も非常によかったと思いますが、「はじめに」に関する質問です。

5ページ目をご覧くださいますと、都市づくりの目標とあります。都市づくりの目標に関しましては、61ページでSDGsの目標を掲げられました。さらに、将来都市像という全体構想に係るキャッチフレーズも設定していただいています。

まず1つ、この都市づくりの目標に関して、5ページ、6ページにSDGsという言葉がなくて、61ページにはSDGsがしっかりとアイコンまでつけてもらっているのですが、はじめにのところでSDGsについて触れるお考えはないですかということが1つ目の質問です。

もう1つは、5ページ目の基本理念もわかりやすいのですが、このキャッチフレーズとの関係です。都市づくりの目標と基本理念との関係についてご説明をいただければと思います。

以上2点お願いします。

#### 【大塚委員長】

SDGsについて、61ページで出てくるので、5ページ、6ページの前段部分として踏まえておくべきことの中に入れ込む考えはないかということと、基本理念と都市づくりの目標との関係性についてですが、いかがでしょうか。

#### 【事務局】（永井課長）

まず1点目、SDGsとの関連でございますけれども、記載するかどうか迷った部分ではございます。

5ページ、6ページの上位計画については愛知県の区域マスタープランでございまして、もう1つの上位計画として小牧市まちづくり推進計画がございまして、それについては3ページ、4ページに記載させていただいておりますが、SDGsとの関連については上位計画のまちづくり推進計画の中でも若干触れているところがございまして、この都市計画マスタープランの中では記載しなかった部分でございまして、記載したほうがいいのかどうか検討させていただきたいと思っております。

2点目の5ページの基本理念でございまして、これは県の区域マスタープランになります。こことの関連性ということでございまして、まず、優先して検討させていただいたのが3ページ、4ページの市でつくる最上位計画のまちづくり推進計画で、4ページの一番上段の黄色いところで都市ビジョンを3つ掲げてございまして、61ページでは、都市ビジョン3、魅力・活力創造都市を引っ張った形で記載してございまして、

さらに都市ビジョンの魅力・活力創造都市を都市計画マスタープランにおける解釈としてサブテーマを下段に記載いたしました。こちらは、前回策定委員会の地域別構想に係る意見の中で、まちづくり目標の3行目の「安心・安全に暮らし続けられるまち」というところを生かしたものとなります。実際には、5ページでご指摘いただいた県の区域マスタープランとの関連性は特に文字という部分においては、これを使ってこなかったというところですが、区域マスタープランの基本理

念にある「歩いて暮らせる身近な生活圏が形成された都市づくり」という部分で、上位計画の基本理念に即し検討させていただいたという経過がございます。

【大塚委員長】

いかがでしょうか。

【萩原委員】

ありがとうございます。

5 ページ目は、県の上位計画ということで記載いただいたということですので、理解いたしました。

5 ページ目以降の都市づくり目標も県の基本理念を基にした目標であり、一方、61 ページの将来都市像は、区域マスタープランを踏まえ小牧市独自で定め、その下にある黄色のサブテーマ部分も、区域マスタープランを小牧市なりに解釈して定められている。

でも、146 ページの指標の部分は、例えば都市づくりの目標に関して、一つ一つの指標は確かに県の計画に基づくものかもしれないけれども、都市づくりの目標のところには、中心拠点や地域拠点、名鉄小牧線沿いとか、小牧市にターゲットを絞っています。それに基づいて、小牧市の都市づくりに関し、どういう形で評価していくのか指標をここで掲げられて、この計画の進捗状況を図っていくわけですから、例えば 61 ページの将来都市像の魅力・活力創造都市があくまでも小牧市の都市づくりの目標である。県の計画を踏まえて小牧市なりに解釈したものだから、はじめにのところで書く必要はないというお話だと思いますが、書いてもいいのではないかというのが私の率直な意見です。

県の計画があって、それを小牧市なりに解釈して、小牧市の都市づくりの目標はこうだよということが、はじめにのところに書いてあってもいいのではないのでしょうか。より市民にとってはわかりやすいのかなという印象を持ちました。

【大塚委員長】

いかがでしょうか。

【事務局】（永井課長）

ご指摘いただいた部分ですけれども、3 ページ、4 ページ、5 ページ、6 ページに記載した部分は、上位計画の概要として書かせていただいた部分になります。この都市計画マスタープランにおける将来都市像や都市づくりの目標については、61 ページより記載しております。

【大塚委員長】

よろしいですか。

はじめにの序章は、小牧市の目標を掲げるに当たって踏まえなければいけない前提条件を整理しているとご理解いただければよろしいかと思えます。

ほかにいかがでしょうか。

生田委員、いかがでしょうか。

### 【生田委員】

前回欠席したので、今回これを見させていただいて、全方向的によくまとめられた形になっているなという印象を持ちました。

各項目については比較的細やかに書き込んであるということと、前半のところで分析がしっかりされているところがよいんじゃないかと思う一方で、これは本当に感想ですけれども、全方向的につくると、中心的な目標が何かというのが見えづらくなるというか。どこへ向かっていくかというのが総合的に語られてしまうので、もやっとするところは残っているのかなという気がいたします。

特に、最後の進捗管理の表も、行政の立場や市マスタープランの位置づけとして目指す方向を上と下だけで示されていますが、もう少し踏み込んで、例えばこのヴィジョンの中でどこの部署に出すんだというのが書き込めたりすると、強いメッセージ性や、そこへ向かってどういう行政手段をとるかという効果にも表れるかと思います。少しやわらかい表現に落ちついているという感想を持ちました。

### 【大塚委員長】

最後の第7章、146 ページで、計画を進捗管理するために数値目標を掲げるというのは行政計画でやられていることですが、具体的な数値を掲げ、それを目指し数値に到達したかどうかというチェックをする手法がよくある中で、前を向いて進んでいきますという意思表示をしているにとどまっているのが、若干弱い気がするというご感想です。

この辺、意図としてはどのようにお考えでしょうか。

### 【事務局】（永井課長）

146 ページ、147 ページに記載させていただいた指標、基準値、目指す方向について少し補足説明をさせていただきます。

まず、目指す方向の上向きまたは下向きの矢印でございますけれども、上位計画の小牧市まちづくり推進計画も同じように基準値がありまして、目指す方向が矢印で記載された形となっておりますので、都市計画マスタープランについても同じような記載の方法を行ったということでございます。

目指す方向ですけれども、例えば 146 ページの最上段の定住人口で 15 万 2,816 人という基準値がございまして、上向きの矢印が目指す方向でございます。この 15 万 2,816 人を上向きの矢印で示す意味でございまして、人口減少の時代に、この基準値を上回る人口を目指すということはかなり無理なことではございますが、それ以外にこうした都市計画マスタープランもしくはまちづくり推進計画で、自然減はあったとしても、小牧市が頑張っけて取り組むことで少しでも減少を抑えたいという意味合いの上向きの矢印でございます。

幾つかの指標がございまして、小牧市が頑張っけて取り組んで成果が出る指標と、周りにいろんな要素があつて小牧市が頑張るだけではなかなか実現できない指標、いろいろ入つてございまして、小牧市が積極的に取り組みたいと考えていることを矢印の方向で示させていただいてございます。基準値の数値を上回るか下回るかということだけではなくて、取り組みの方向性を示させていただいている記載となっております。

### 【大塚委員長】

私は個人的に数値目標を掲げるのは、これとこれをやるからこのぐらいの数字が上がるだろうという根拠がバックにあれば、それを掲げて、実現できなかったのはこれとこれができなかったからということで次の改善に繋がると考えます。しかし、例えば市民の意識や満足度を60%、70%にしようといっても、何の根拠もないわけですから数値目標を掲げて、それでどうこうということ自体にあまり意味がないのではないかなと前から思っています。

小牧市はいかにしてこの基準値を上げていくのか、そのための施策を前向きに実施していきますといった意思表示にとどめているということかと思えます。

### 【小柳委員】

先ほども少し触れましたけれども、人口の関係でも、既に平成16年から生まれてくる赤ちゃんの数が100万人を切っております。中央官庁は本来2021年に90万を切るという試算をしておりましたが、実は本年度に90万を切るという外的条件を小牧市もやはり避けて通れない。

この先、限界集落どころではなく、自治体そのものも消えていくような、あるいは2050年ぐらいには東京の中でもゴーストタウン的なものが出てくる試算もされている中で、この計画を達成するのに非常に困難さはあるけれども、私はここで携わった委員の一人として、こういう努力はすべきだと思っていますし、その責任の一端を感じながらここに参加しております。ですから、目標は高く持って、それに少しでも近づくという努力は、日常的というの大げさですけども、そういう努力をするという前提で私自身は論じてきたと思っています。

責任ある地域については一定の成果を上げるべき努力をせねばならぬという決意も一端では持ちながら話をさせていただいています。小さなさまざまな数値的な問題は外圧で随分変わると思いますから、今ここであまり数字がどうのこうのというところまでしてしまうと、その外圧の流れの中で小牧市だけで逆流するわけにはできませんので、その辺も踏まえていけば、一定の数字が書かれているように思います。

ただ、15万2,816人をアップしていくということは、少し考えないといけないかなというように思います。

### 【大塚委員長】

ありがとうございました。

いかに減っていくのを抑えるかという目標は、アップさせていくぐらいの気持ちを持って取り組んで、ようやく維持していけるということがあるのかもわかりません。

ほかにいかがでしょうか。

### 【細委員】

この会議に参加させていただくのは2回目で、以前から、都市ヴィジョンのことは議員のときもいろいろと意見を持っておりましたが、特に146ページで発言したいと思います。

小牧市は工場がたくさんありますから、流入人口が多いわけですね。そういう面では、ここに渋滞発生箇所が24カ所と書いてありまして、渋滞の箇所が必ずしも信号交差点ではないということも耳にしますが、その下の交差点の改良実施箇所が1カ所とあります。

小牧市は以前から渋滞がひどいということは我々も理解しておりますけれども、その割に交差点

の改良が1カ所なのか。24カ所の渋滞がここで挙げられておって、それをもっと進めていかなければならないのではないかという気はしますが、それに対する対策はどのようにお考えでしょうか。

【大塚委員長】

いかがでしょうか。

【事務局】（永井課長）

146ページ、147ページに書かれた内容でございますけれども、全てまちづくり推進計画から転記させていただきます。

ただいまご指摘の箇所につきましても、まちづくり推進計画の基本施策26番、道路・橋梁の展開方向1、円滑に移動できる道路を整備しますという中で使っている指標として、生活道路の整備率29.3%、目指す方向は上向き、交差点改良の実施箇所数1カ所ということでございまして、これを転記させていただきます。

先ほどのご質問と関連する部分がございますけれども、145ページの一番下の都市計画マスタープランの見直しに記載させていただいておりますとおり、まちづくり推進計画の指標を使い、その進捗状況の把握を行うとともにまちづくり推進計画の指標を把握して、都市計画マスタープランの見直しの際に検討するツールとしてこうした指標を使い、状況の変化がどう起きたかを数値で把握して、その後の見直しに生かしていこうと考えております。146ページについては、まちづくり推進計画、上位計画のものを使いますということをご記載させていただきます。

【大塚委員長】

よろしいですか。

また、今の146ページの交差点改良の「実施箇所数」は「実施箇所数」に修正が必要だと思います。

【事務局】（永井課長）

失礼いたしました。修正させていただきます。

【大塚委員長】

よろしく申し上げます。

ほかによろしいでしょうか。

【萩原委員】

こちらの指標そのものは小牧市まちづくり推進計画ということでわかりますけれども、この基準値も小牧市まちづくり推進計画のものをそのまま転記してきたということによろしいですか。

だとすれば、親切丁寧に、例えば「平成27年」や「平成28年」と書いてあります。書いてないところは、それぞれ何年とかがもし違のであれば、わかりやすく基準値についてもできる限り表記してもらえればうれしいなと思いました。

**【大塚委員長】**

表の中に平成 27 年度、28 年度、29 年度と個別に書いてあるものがありますが、書いていないものは一律何年度というのは統一されているわけですか。

**【事務局】（永井課長）**

恐らく 30 年度ということは何も書いていないということになってございますが、確認させていただき記載させていただきたいと思います。

**【大塚委員長】**

括弧書きで書かれているのは、多分イレギュラーだから書かれているので、ほかはいつなのかというのが、注釈として欄外にでも書いていただくといいのではないかなと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

**【佐橋委員】**

私は区長会からこの会に出席しておりまして、治水対策をどうしていくのかということを経理の特別要望でも出してあります。

この計画を見ておりますと前向きな話ばかりで、その辺のことがあまり触れられていないように思います。昨今の台風 19 号に関連したダムや急遽放流など騒がれておりますが、この計画ではそういう箇所の記載が少ないと感じております。今回の計画はこういうしっかりとしたものが出ておりますので、次回としてそういうものも組み入れてほしい。

私は巾下に住んでおりますが、こちらにお見えになる方は山の上のほうに住んでお見えです。向こうの水がみんなこっちへ来るんです。コロナ周辺や西之島周辺は治水対策が非常に重要な地区です。

こうやって上手に計画を立てられるのもいいのですが、そこら辺のことも考えて治水をやって、初めて次の計画を立てるということにならないと大変なことになると思います。

よろしく申し上げます。

**【大塚委員長】**

治水は、これから都市計画の中でも重要性を増していこうということで、今回の計画はこれでいいとしても、今後は増々そうした面の重要性が強まってくるので、今後の計画においてはその辺りを踏まえてやってほしいということかと思えます。

特に何かコメントいただくことはありますか。

**【事務局】（永井課長）**

今回のマスタープランにつきましては、特に河川や震災対策といった部分につきましては、81 ページの下水道及び河川の整備の方針で触れさせていただいております。

**【佐橋委員】**

数行ですよね。

**【事務局】（永井課長）**

このあたりについては、市の河川部門とも調整させていただいた上での記載とさせていただいております。

将来的な部分でございますけれども、はじめにというところで、1ページをお願いできますでしょうか。

下段の図で記載している「小牧市が定めるもの」のすぐ下に楕円で記載させていただいている「(仮称)小牧市地域強靱化計画(令和2年度策定予定)」は、委員からご指摘のありました昨今の自然災害などを踏まえまして、小牧市といたしましてはこうした地域強靱化計画を令和2年度に策定して、さらにこのあたりについても詰めていこうという計画でございます。

こうしたものが出来れば、次回の都市計画マスタープラン策定においても、そのあたりを十分に踏まえて見直しをしていく必要があるものと考えております。

**【大塚委員長】**

並行して強靱化計画というものをつくっていくということです。時期的に今回の計画のほうが先に出るということです。その辺で強靱化計画の内容をなかなか盛り込むことができないということで、この表現でとどまっているということです。今後は増々と佐橋委員のおっしゃられるような方向に進んでいくとは思いますが。

ほかにいかがでしょうか。

**【生田委員】**

今のことに絡んでですけれども、河川や浸水に対する対応の仕方として、下水道整備や河川周りの堤防整備のみならず、地域全体としてどれだけ保水量を持つかという話も一方であると思います。

小牧市の場合、ニーズも高いということで、結構な生産緑地が産業化されていくという流れがあって、そのニーズが高いということは重々わかりますが、長いヴィジョンに向けてどれだけ保水力を持たなければならないのかという、そういうことも今後の課題としては考えたほうがいいのかと思いました。

**【大塚委員長】**

多分、そうしたことも強靱化計画の中で議論されるのではないかなと思いますので、そういう意見があるということで受けとめていただければと思います。

ほかによろしいでしょうか。

県のほうからコメントいただければ。

**【片山委員（代理：齋藤）】**

先ほど来から、最後のページのまちづくり推進計画から指標を持ってこられてということで事務局からご説明がありました。最初、定住人口の目標が14万8,000人なのに何で上向きなんだろうと見ていたところですが、みんなで頑張っていこうという意味合いでやってみえるということでご説明あったと思います。

ここが、今日、皆さん引っかけた部分でもあると思いますので、もし可能であれば、指標の意味合いみたいなものを少し追記してはどうでしょうか。少し感想めいたことで恐縮ですが思いまし

た。

【大塚委員長】

ありがとうございます。

では、市から小林委員どうでしょうか。

【小林委員】

強いて少しお願いというか、確認ですけれども。

145 ページ、最後のマスタープランの見直しという項目です。

都市計画マスタープランの 10 年の計画期間の中で、10 年先は見通せないほど激変をしていますので必要に応じて適宜見直しというのは当然のことだと思いますが、その見直しの方法で考えてみえることがあれば、お聞かせいただければと思います。またこういった委員会を開催して見直されるのでしょうか。

【事務局】（永井課長）

現時点でやり方は決定しておりませんが、ご指摘のとおり策定委員会、前回の見直しもそうですけれども、そうした組織をつくりその中にご議論いただければと考えております。

【大塚委員長】

最後、前田委員よろしく申し上げます。

【前田委員】

委員として、事務局も兼ねておりますので、なかなか言いづらいところですが。

今回、改定案がまとまってきますと、具体的な施策ということで事務局を中心に庁内組織で取り組んでいく必要があるのではないかと考えております。

その中で、先ほど来からお話があるように、少子高齢化、人口減少というのは、小牧市も具体的に言うと平成 27 年度から総人口がわずかながら減ってきております。

冒頭小柳委員からお話がありましたように、東部地区にける居住推進や、東部地区に限らず居住推進ということで施策を幾つか展開しておりますので、今後は、この都市マスタープランに基づきまして、皆さんからお話がありますように市民協働という点と民間活力を有効に利用するなど、佐橋委員から言われたように浸水対策や何かは小牧市のみではできませんので、防災あるいは公共交通もうそうでありますけれども、他の自治体と連携をとりながらこの計画を推進してまいりたいと思っております。

そのようなことも考えて進めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご助言をいただきたいと思っております。

【大塚委員長】

ありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

**【岸委員】**

本計画の冊子を私どもに渡されて、全部に目を通そうと思うと相当の時間がかかりますけれども、どのような方々が本計画を実際にご覧になるのかが一つ気になるということです。

最初に序章ができたことでかなりわかりやすくなった気はしますが、以前は概要版をつくられたと思うんですけれども、こういったものをつくれる予定はあるのでしょうか。

**【大塚委員長】**

計画をどのような形で公表されるかというところですが、いかがでしょうか。

**【事務局】（永井課長）**

ご指摘の概要版につきましても、作成して配布させていただきたいと思っております。

それ以外にも、ホームページへの掲載、議会、都市計画審議会へもお伝えし、できるだけ周知に努めてまいりたいと考えております。

**【大塚委員長】**

計画ができれば、広報等で周知もされるのでしょうか。

**【岸委員】**

こういうものが世に出ると、これがひとり歩きすることがよくあります。あちらこちらから情報を集めて、それに関する説明であったり、これ自体の説明だったり、それが読んでいる人にとっては非常にわかりづらいつらいかなというところがあります。これは表現上の問題ですけれども、ほかから持ってきたデータであれば必ず出典を明らかにするなど、先ほどの146ページのデータも上位計画から持ってきたよという、それはそれで説明文を読めば書いてはあるんですけれども、できれば数字の出典元を全て明らかにし、例えば欄外にそういうことを書いておくと、もう少しわかりやすくなるかなという気がしたわけです。

概要版にはそこまで書かなくても、小牧市全体の立場からしてこうですよということを市民に知らしめるためのものかなと思いますので、こういうものはいいですけれども、計画本編の資料には、できるだけそういうところを細かく表現されるほうがいいのかなということを感じました。

ついでに細かい話で恐縮ですけれども、146ページの目指す方向、上を向くか下を向くかという表現がされておりますが、はっきり言って見にくいです。であれば、45度方向に書かれたらどうでしょうか。自分で見ていて一生懸命探さないでどれが下向きでどれが上向きかがわかりにくかったので、もしこういう表現をされたいのであれば、45度方向の方がいいかなという気がいたしました。

**【大塚委員長】**

出典を明記して、これは一切、上位計画であるまちづくり推進計画から持ってきたものだからということで100%引用して載せるのであればいいのですが、それを一部改変して手を入れるということもあるかと思います。そこら辺はご検討いただければと思います。

概要版は市民向けですから、表現的によりわかりやすい表現を工夫していただければと思います。よろしいでしょうか。

### 【名和委員】

今さらながら申しわけないですが、基本理念があつて、戦略、戦術となつていきます。5ページの基本理念を見させていただきますと、「集まるとともに、歩いて暮らせる身近な生活圏が形成された都市づくり」とありますが、「集まり歩いて暮らせる身近な」というように、簡潔に言ったほうがいいやすいのではないかと思うところもあります。

「まちづくり」と「都市づくり」というのが非常に混在しており、どちらなのか。総論で言うのが「都市づくり」で、各論に落とし込んだときに「まちづくり」になっていくのかなという自分なりの解釈をしておりましたが、「まちづくり」と「都市づくり」の使い分けを改めて教えていただければと思います。

### 【大塚委員長】

5ページにつきましては、あくまでここは上位計画で書かれているものを要約して紹介しているということですので、この表現自体は市ではどうしようもないことと思います。

### 【名和委員】

これは変えようがないということですね。

### 【大塚委員長】

これは、都市が集合した広域の都市計画区域を対象とした県の計画ですので、個々の都市のことについては「都市づくり」という表現が使われていると思います。

市の計画ですと、都市のより細かなことになってくるため、「まちづくり」という表現が使われることが多いのではないのでしょうか。小牧市全体としてということになると「都市づくり」というのを使ったりするのではないのでしょうか。

明確な定義があるわけではないですが、使い分けをされているとすればそういうことで使い分けをされていると思います。

### 【萩原委員】

序章. はじめにというところを誤解しておりました。ここはむしろ上位計画だというご説明だから、はじめにというところを小牧市の総合計画全体の説明だと思っておりました。

今回の小牧市都市計画マスタープランについては、序章. はじめにというところで上位計画を説明されていますので、そここのところを私が誤解したんだと思います。

しかし、やはり序章. はじめにというのは、ここでは少し違和感があります。

### 【大塚委員長】

「はじめに」というタイトル自体を、中身に即したようなタイトルにしたほうがいいのではないかというご意見ですね。

### 【萩原委員】

そう思います。「はじめ」としてしまうと全体を踏まえた都市計画マスタープランのはしがき

ですよね。そうすると、小牧市の都市計画マスタープランについて触れておくべきと思います。

**【大塚委員長】**

例えばですが、序章として「計画の位置づけと策定の趣旨」にすると中身に即しますでしょうか。

**【萩原委員】**

そうですね。副題をつけて序章とすれば、上位計画と小牧市計画との関係として、今からこれを全部修正するのは大変でしょうから、小牧市のマスタープランと上位計画の関係など。

**【大塚委員長】**

わかりました。現行計画がどのような記載となっているかということがありますが、その辺は確認していただいて、これもご検討いただければと思います。

**【酒井委員】**

簡単なことをお願いしたいです。

概要版を市民に出すというお話でしたけれども、とにかくわかりやすく、簡単にお願いしたいと思います。私たちがわかるようなものにしていただきたいと思います。

まとめていただいた計画は素晴らしいと思います。このようになっていけば、小牧市もいいなと感心して読んでおりましたけれども、最後に概要版のお話が出たときに、こんな難しいものが概要版も作成されるのであれば、私たちは理解できないということも考えましたので、わかりやすく。

概要版というのは市民全体に配布されるのでしょうか。どのような形で配布されるおつもりでしょうか。

**【事務局】（永井課長）**

今のところ、全市民にということは考えておりませんが、例えば市民センターの窓口などでお取りいただけるようにという形では考えさせていただきたいと思っております。

**【大塚委員長】**

ありがとうございます。

酒井委員にご発言をいただきましたので、よろしければ、最後、長田委員お願いします。

**【長田委員】**

全体的にきちとつくってあると思います。とはいっても、あくまでも基本的な考え方と方針です。

実際に自分たちの仕事でも、計画は立派なものをつくりましても、実質、いざとなったら何もできないということがあるものですから、ここに書いてある PDCA サイクルをきちんと回していただいき進捗管理をきちんとやっていただいで、よりよいまちづくりをしていただければいいかなという感想です。

**【大塚委員長】**

ありがとうございます。

皆さんからひととおりのご意見をいただきましたので、本日の内容で、明らかに修正しなければいけないところは部分的に修正していただいて、SDGsの表現や取り扱いなど、幾つか事務局で検討していただいて、修正するしないも含めて検討いただかないといけないところがありますが、それを踏まえた最終案の確認につきましては委員長に一任いただくということにさせていただければと思います。いかがでしょうか。

**【委員】**

異議なし。

**【大塚委員長】**

では、そのようにさせていただきます。

長時間にわたりましてご検討いただきありがとうございます。

次第、その他がございますけれども、事務局からございますか。

**【事務局】（永井課長）**

事務局から2点ご連絡させていただきます。

まず1つ目、本委員会の会議録についてでございます。

会議録につきましては事務局で作成し、公開前に委員の皆様にご確認いただきたいと考えております。後日、確認のご依頼をさせていただきますのでよろしくお願いたします。

2つ目といたしましては、今後の予定でございます。

本日の議題の中でもご報告いたしました。都市計画マスタープランの改定案につきまして、来年1月28日の都市計画審議会に諮問したのち、2月の公表を予定しております。

委員の皆様に対しましては、最終案や公表日などにつきまして、確定次第お知らせさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

また、本委員会につきましては、今後の開催は予定いたしておりません。これまで、ご議論いただきご意見を頂戴しましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

**【大塚委員長】**

今お話がありましたように、この策定委員会、今日が最後ということになります。皆様の意見をうまく取りまとめることができなかつたかと思いますが、皆様のご協力もあり、あと少し宿題が残っておりますが、あとはこちらに一任していただいたということで、取りまとめさせていただきたいと思います。

以上で策定委員会を終了させていただきます。2年度にわたりご協力いただきましてありがとうございました。